

機能訓練で体を動かすことも大事ですね！

Let's ほほえみりハ 活動報告

体力維持・向上を目的に機能訓練を提供させて頂いておりますが、機能訓練の一環として脳トレ(数独・間違い探し・クロスワードetc)更に手作業として季節感のある作品作成の提供もしています。



利用者の方々は、体を使うメニューを早々に終わらせ、今日は手作業ある？と職員に声を掛けるほど楽しみにしていちゃいます。思わぬ作品の完成に喜ばれ、完成してしばらく展示してからのお返しとなりますが、展示中は作品を観ながら会話に花を咲かせている場面もあり、機能訓練をしながらも、楽しめている姿も見かけられます。

手作業は苦手という方々も、脳トレに集中され、難しい箇所を、同席の方々と一緒に考えられている場面も見



受けられ、他者の方々との交流で話したり・笑ったりコロナ禍の中、大切な時間だと実感しながら、今年度も更なる感染予防に努め、機能訓練に取り組んで頂きたいと思っております。

(文責：管理者 高木 美紀)

認知症対応型通所介護 ほほえみ倶楽部

ご利用者様の笑顔を大切にしているほほえみ倶楽部では感染予防を実施しながらできる限り季節のイベントを行い楽しい時間を過ごして頂きました

10月のハロウィンでは普段あまり着ることがないような衣装をご自分で選ばれ可愛いアイドルになられた方もおられました11月は恒例の芋煮会を開催ご近所様の畑から頂いた大根、里芋…等を前日からご利用様が切って下さりさすが先輩主婦と感心するばかり。

当日は具がいっぱいの芋煮を大きなお玉でよそって心も体も温まり「美味しいねー」の声がたくさん聞こえてきました。

今年もほほえみ倶楽部らしい笑顔が増えますよう職員一同努めていきます。

(文責：主任 稲垣 弥寿子)



謹賀新年

クリニックの連携強化で
新型コロナへの対応

2021年は、新型コロナウイルスの対応に法人の機能強化型在支診の3クリニック(中希望が丘診療所、御殿山クリニック横浜、ほほえみ内科クリニック)は、積極的に対応してまいりました。

ワクチン接種は、3クリニックで外来患者様に約2,600回と訪問診療先(個人宅や施設)の患者様に約5,100回の計約7,700回の接種を11月までに実施しました。

また、外来や訪問診療先でのPCR検査等も必要に応じて(要望含む)実施し、新型コロナが蔓延した時期から今日まで訪問診療や往診や看取りを継続して実施してきたことは、関係者の皆様にも評価を頂いております。

現在、第6波の拡大に備えて3回目のワクチン接種(ブースター接種)の実施が間もなく開始になります。引き続き地域の皆様、患者様へのワクチン接種ならびに新型コロナの診療に積極的に対応してまいりたいと思います。

(文責：クリニック統括 宗内 秀策)

43年間、住民の皆さんに寄り添い
健康な生活をサポート

昭和54年10月にスーパーいなげや中村橋店に開業し、その後、池袋駅ビル(現ルミネ) 都営地下鉄大江戸線「光が丘駅」に出店し、大団地の地域医療の一端を担ってきました。

更に、平成21年には介護老人保健施設「ほほえみの郷横浜」を始め3クリニック、認知症対応型通所「ほほえみ倶楽部」や2ヶ所の訪問看護リハの立ち上げのためにイマ南薬局のみ存続させ経営資源を集中し今日に至りました。

43年間、住民の皆さんに寄り添いご愛顧をいただきながら歩んできました。これからも手早く正確な調剤と共に、更なるコロナ感染防止の徹底に取り組んでいきたいと思ひます。



イマ
IMA南薬局

(文責：株式会社ちとせ 代表取締役 小林 紀子)

中希望が丘診療所	TEL045-350-5452
御殿山クリニック横浜	TEL045-951-9001
ほほえみ内科クリニック	TEL045-580-0030
居宅介護支援事業所 ほほえみりぼん	TEL045-744-6777
認知症対応型通所介護 ほほえみ倶楽部	TEL045-744-5708
清掃部門 パールメイト	TEL045-955-5577

ほほえみの
医療・福祉サービス

通所リハビリテーション	TEL045-951-2990
Let's ほほえみりハ	TEL045-952-3000
ほほえみ訪問看護 (通称)リハピステーション ほほえみピーチ	TEL045-744-9243
訪問看護 リハピステーション ほほえみマロン	TEL045-453-8877
イマ IMA南薬局	TEL03-5997-1616

ほほえみ通信

令和4年 新春号

Vol. 54

編集・発行
医療法人社団 悠仁会

〒241-0806 神奈川県横浜市旭区下川井町220-1
TEL：045-955-5577 FAX：045-951-2991



令和3年11月10日 スリランカの技能実習生6名が鶴岡八幡宮に参詣しました。 撮影：上山 貴 施設事務長(老健ほほえみの郷)



天然温泉
ほほえみの郷横浜
医療法人社団 悠仁会
介護老人保健施設
全室個室
120室

〒241-0806 神奈川県横浜市旭区下川井町 220-1
TEL：045-955-5577 FAX：045-951-2991
Eメール：hohoemi-sato@waltz.ocn.ne.jp
<http://www.hohoemi-sato.com/>
併設 通所リハビリテーション(45名) ☎045-951-2990

●●●●● 令和3年もコロナ禍に振り回された1年でした ●●●●●

8月の第5波での急激な感染拡大には危機感を持ちましたが、全職員挙げての取り組みで無事乗り切ることが出来ました。

「老健ほほえみの郷や通所リハビリテーション」を始めグループ事業では、毎年インフルエンザ流行期には、10月早々から感染症対策委員会の下に、職員のマスク着用や手洗い消毒等を徹底し、感染防止に真剣に向き合ってきました。結果として感染は阻止され、その知恵と経験が、今回のコロナ対応にも遺憾なく活かされていると思っています。

尚、クリニック部門では、ワクチン接種7700回余、約4000人の地域住民の要請にもお応えしてきました。

最近では東京・神奈川での感染者数も減少し、1～2桁で推移していますが、第6波や新変異株オミクロンの拡大も懸念されている折柄、更に気を引き締めてご利用者様の安心安全に努めて行く所存です。

今年はいきいきとした年にしたいものです。

(文責：ちとせ・ほほえみ医療福祉グループ 代表 小林 豊機)



職員から「的確な指示出し」にやりがいの声

新 施設長 ご挨拶

10月から施設長に就任した佐賀恵吉(さめきけいきち)です。よろしくお願いします。コロナ禍が始まって2年がたとうとしています。これほど長く続くとは想像していなかったと思います。「第五波」が収まった今、慣れて気が緩む時期です。新たな危険な「オミクロン株」の流行を前にして、これまで自分たちで考えた手順や規則をなおざりにすることなく誠実に実行する、これ以外にありません。



今必要なのは、インフルエンザワクチン接種を進めつつ、コロナワクチンの3回目の接種を終えることです。たとえ手を抜いていて無事だったとしてもそれは偶然であり、つまり僥倖でしかなく、奇禍と背中合わせの危険な状態に身を置いていることになるのです。

ご承知のように老健は医療機関ではなく、新型コロナウイルス感染症の治療に直接関与するところではありません。しかし高齢者施設はこれまでも種々の感染症から施設を守ることが要請され、その目的のために感染対策やスタッフの教育訓練をして来たところです。今はこれまで経験したことのないコロナ禍において、その全てが試される時です。

今年で介護保険法が施行され21年が過ぎました。高齢化は予想より速いペースで進み、老健の重要性もますます高まっています。老健の使命は、安全に気を配りながら、利用される方々の生活機能の維持・向上を目指し、これらを総合的に援助することにあります。これまで一般的に見えたこの使命が、今ほど緊張を持って、成果が試されるときはありません。

(文責：施設長 医師 佐賀 恵吉)

新顔 温かい目で見守って下さい

ほほえみ訪問看護ピーチに入職致しました看護師の柏倉です。

訪問看護の仕事に携わってから10余年になりますが、在宅でのこの仕事が出来ことに喜びを感じ、遣り甲斐をもっています。着任してから4カ月になりますが、良い仲間巡り合え、皆さんに支えられ感謝しています。



これからもスタッフの皆さんとの協力で風通しの良い職場を築き、ご利用者様の健康管理に頑張っていきたいと思ひます。

文責：訪問看護リハビリステーション (ほほえみピーチ管理者) 看護師 柏倉 あかね



ご家族からのご便り

献身的なお世話に感謝！

コロナ禍での入所で面会も思うようにならな中、ターミナルケアになってしまつて、家族として一抹の不安を持ちました。ターミナルケアとなった母の部屋に、弟が度々見舞いにいけるようになると母の様子や日常を目にすることが出来、職員の皆様の優しく親身な介護の状況も良く分かりました。お仲間も出来たようで、看取りまでしていただくことが母にとつても家族にとつても一番幸せなことと納得もしました。皆様に見守られながら穏やかに旅立ったことに安堵すると共に感謝しております。

2021年10月10日



海外からの便り (太平洋ユニット) M・H様のご家族より



スリランカ民主共和国 6名の技能実習生も頑張っています！

技能実習2期生がほほえみの郷横浜で実習するようになってから一年が過ぎました。2年目を迎えるにあたって技能実習評価試験を受験し試験に合格しなければなりません。それは技能等の習得程度を測るために実施され、学科と実技の試験で評価し確認するものです。この試験に不合格の場合はスリランカに帰国しなければなりません。それだけに本人はもとより各指導者達にかなりのプレッシャーがかかっていました。模擬試験中に緊張のあまり笑ってしまう実習生がいました。「笑顔で行う事は良いことだけど、笑い声は馬鹿にされたと勘違いされてしまうこともありますよ！」と注意をされてもなかなか直らない実習生もいて、前日のギリギリまで様々な介護についての勉強をしました。その特訓の甲斐もあり見事合格！試験評価者からパーフェクト！という言葉も頂戴しました。この合格には本人の努力の他に技術試験のモデルとして日々の練習につきあってくださったご利用者様のご協力に心より感謝申し上げます。



2期生のみなさん



現在、2期生達は早勤、日勤、遅勤の業務を独りで出来るようになっており、夜勤に関しても独り立ちが目前となっています。先輩の一期生と共に成長の楽しみな二期生の今後の活躍と一緒に見守っていただけると幸いです。

(文責：技能実習生担当 榎本 園子)

銘菓を通して旅行気分を！ 通所リハビリテーション

この2年間、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が何度も発令され、その都度外出自粛を余儀なくされました。デイにおきましても、コロナ禍以前に実施していた年2回の外出レクリエーションを実施する事が難しくなっていました。

そんな中、デイにしながら旅行気分を味わって頂ける様「おやつ銘菓巡り」を企画しました。各都道府県の銘菓を取り寄せ、おやつ時間に提供させて頂いています。行事食が無い月に現在まで計6回(神奈川・岩手・静岡・沖縄・宮城・福岡)実施しました。普段とはちょっと違ったお菓子で、毎回好評です。お菓子に纏わる思い出話や、旅行先でのエピソード等を話して下さる方もいて、リハビリでの体力維持と共に会話も弾みますね。

感染者数も落ち着いて来ましたが、気を緩めず、感染予防に努め、銘菓を通して旅行気分浸って頂けたらと思います。

(文責：通所リハビリテーション 高橋 幸平)



ご利用者様が一日にひとつでも楽しい事を!!

大きな笑い声がある事を心がけ、常に皆様に喜ばれる様なレクリエーションを考えています。

天気の良い日は、屋上で外気浴。富士山を遠くに眺め歓声を!!そして定番となった刺し子・書道は驚くほど腕前が上がっていく毎に、アドバイザーとして喜びを感じています。 昨年は手製のぬり絵にも取り組みました。

男性のご利用者様は、毎日五目並べを楽しみにされ、連日いい勝負です。もちろん応援団もいて「勝った!! 負けた!!」で、すごい盛り上がりです。コロナの影響でご家族との面会も思う様に出来なかった為、手書きの年賀状で「元気に過ごしているよ!!」とご家族に近況をお知らせしました。

虎の今年もご利用者様に喜んで頂けるレクリエーションを考え、共に楽しく過ごしたいと思っています。

(文責：介護アドバイザー 関 智子)

